

## GHQとピンコ（赤いやつ）の日本改造

### 1. 日本人の多くが抱いている誤解

#### 1) 日本国憲法はマッカーサー製の即席憲法である

正解：マッカーサー製ではない、OSS製のじっくり練られた日本改造計画の一環が日本国「憲法」OSS7 (office of strategic service 戦略情報局) の「日本計画」が元。昭和17年7月頃には策定済み

#### 2) 「天皇制度」の存続はマッカーサーと昭和天皇の会談の産物・・・

正解：「日本計画」の中に「天皇制度は残す」と明確に・・・目的は軍と天皇の対立を利用する

2. OSSは昭和16年5月にイギリスの指導の下に設立されている。アメリカは既にこの時点から、日本との戦争を決意していたのである。現在の日本では、日本の侵略だったとの理解が支配的。完全な「敗戦」である。

3. ルーズベルト政権の内部には、300人を超えるコミンテルンの要員がそれぞれのポストについていた。昭和8年のルーズベルト政権成立。ニューディール政策の実施に伴い、多くのマルキスト達が「潜伏」するようになっていた。日本人もいた。＜都留重人／鵜飼室道＞

4. ナチの政権成立も同じ昭和8年（1933年）。ユダヤドイツと目されたドイツから多くのユダヤ人マルキストがアメリカに亡命した。彼らの中心がフランクフルト学派と呼ばれる集団であった。ルカーチやマルクーゼらが著名。彼らの特徴はインテリが中心と考え、政府機関の要路を支配することから革命に至ると考えることにある。「プロレタリアート」は「疎外」されているから駄目だと考える彼らは知識人からなる革命の主体形成を構想し、潜伏を手段にした。

### 5. 1945年4月12日ルーズベルトの死

トルーマンはOSSと「ピンカーズピンコ（赤いやつ）」を嫌った。アメリカ内部にも警戒心が強くなっていた。折からの日本降伏。

6. GHQの設置。ピンコたちは日本に移動した。「民生局」が中心。農地改革や財閥解体は「日本計画」に基づく「日本農業国家化」。

7. 日本国憲法の作成には、多くの日本人マルキストが「偽装」に利用された。鈴木安蔵、高野岩三郎（初代NHK会長）森戸辰夫（後、文部大臣）『押しつけ憲法論の幻』という本もある。

8. 二段階革命論の一段階目には天皇制は残す・・・主役の一人、野坂参三、

## アメリカ誤てりとマッカーサーが泣いた

- 1 .昭和20年8月30日 マッカーサー厚木着 E . H . ノーマンが同行していることに注意。都留重人を探し出す（津留重人は木戸内府の姪の婿、弟が和田小六・木戸は都留と同居していた）
- 2 . 戦犯名簿は誰がどのようにして作成していったか。同じく検閲も誰がどのようにしたのか
- 3 .ヤルタの密約と東京裁判 ハル国務長官 昭和18年11月 モスクワで次を密約 125億ドル、トラック40万台、航空機15000機、戦車7000台、武器弾薬 480万トン、ソ連軍70個師団分の装備食料を提供するから、ドイツ降伏の後は、対日開戦を。  
北方領土と東欧はソ連支配下に。支那と満州は蒋介石（アメリカ）に。
- 4 .昭和20年2月 ヤルタ会談。ドイツの敗勢は明白。ルーズベルトの急死<4月12日>
- 5 .ドイツ降伏（5月9日） 蒋介石軍はアメリカ式の装備・武器で強化された共産党軍に敗れはじめる。トルーマンは原爆を投下。原爆には対ソ連の意味もあった。
- 6 .日本降伏。追撃戦としての軍事裁判が始まる。「極東国際軍事裁判所条例」というGHQ内部の民生局を中心にしたピンカーズピンコ（赤いやつ）の暗躍
- 7 .スターリンはルーズベルトとの密約は無視した。蒋介石は台湾に追われた。日本を打倒したら、たちまちアジアは共産主義者の制圧下に。
- 8 .アメリカ国内にはマッカーシズムの嵐が・・・  
あのホワイトの変死・ノーマンの変死・アグネススモデレの変死・アルジャーヒスの逮捕。マッカーサーは指示され、アメリカ上院で証言した。
- 9 .昭和26年5月3日～5日 米上院軍事・外交合同委員会聴聞委員会証言。
  - 1 ) (日本の戦争は自衛のためのものだった) (拙著 186ページ)
  - 2 ) (アメリカの)・・・この100年の最大の誤りは・・・
  - 3 ) トルーマン大統領への告白（昭和25年10月15日 ウェーキ島）  
「東京裁判は誤りだった」
- 10 .朝鮮戦争の勃発（昭和25年6月25日）
  - 1 ) 日本国内のレッドパージの開始（7月）
  - 2 ) 昭和24年9月・・・この頃、対日講和条約の構想をトルーマン大統領が発表
  - 3 ) GHQ内部でホイットニーやケーディスたちの民生局を拠点としたピンコたちの追放が始まり、ウイロビー（参謀第二部長）の勢力が強まる。
  - 4 ) マッカーサーの罷免（昭和26年7月11日）満州の爆撃と奪還を主張したが
  - 5 ) 冷戦が熱い戦いに

## 戦後レジュームとは何なのか

1. 多くの日本人が知らないOSS (アメリカ戦略情報局 Office Of Strategic Service) とその活動 1942年(昭和17年)6月結成・活動開始  
「日本計画」・「日本国憲法」の構想・天皇制度は残す：軍と天皇の対立構想
2. OSSの設立準備：1941年(昭和16年)に始まる。中心人物：ドノヴァン。600人から始まり、昭和20年には30,000人を擁する大組織に成長
3. マッカーサーの事実上の上部組織であった(フランクフルト学派も多く参加していた。ポール・スウィージ、ノーマン・戦後アメリカ歴史学会の会長8名がこの内にいた)
4. このOSSこそが、支那・満州を共産主義者の天下にした司令塔であった。OSSの活動を延安で眺めていた日本人が野坂参三。野坂は天皇制度打倒の方針をOSSのエマーソンたちとの検討の中で、「象徴天皇制度」に改める。二段階革命論である。この野坂の理論は福本イズムの福本和夫の理論と近似している。ドイツに留学した福本はフランクフルト学派のルカーチに大きな影響を受け、帰国していた。
5. GHQ民生局の主導のもとで、二段階革命論に基づき、農地改革・財閥解体が着手された。マッカーサーが日本政策に関して、最も信頼していたスタッフのノーマンは、胸中では、日本の社会主義革命を秘めていたのである。(マッカーサーと昭和天皇の会見に同席した通訳がノーマンで、日本川の通訳が奥村勝蔵である)
6. ウォー・ギルトインフォメーション・プログラム(贖罪意識刷り込み作戦)大東亜戦争という言葉の禁止・太平洋戦争史観・焚書7900種  
「太平洋戦争史」(スミスGHQ企画課長著)はNHKで10日間連続で放送された。「真実はこれだ」がこれである。「南京大虐殺」の放送は、贖罪意識の刷り込みとして5万冊の本として、全国の小中学校に配布された。占領政策に協力する「好ましい」日本人をリストアップした。朝日・岩波「歴史学研究会」(歴研)の果たした役割
7. 日本国憲法の制定  
ノーマンが来日してすぐ捜した人物・鈴木安蔵：「憲法研究会」の「憲法草案要綱」・鈴木は福本の同志。福本イズムは共産党主流とは異なっていた。ブルジョア民主革命が当面の目標。その後、平和的教育的手段によって、社会主義革命に至る、二段階革命論。天皇の存続も戦争責任も問わないと国務省・極東委員会が決めていた・「象徴」という言葉はOSS製。  
C f : 『憲法「押し付け」論の幻』